

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援事業所すずらん(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2026年1月10日		~ 2026年1月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 3名	(回答者数) 3名	
○従業者評価実施期間	2026年1月10日		~ 2026年1月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 5名	(回答者数) 5名	
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月3日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数の利用のため、スタッフが手厚く支援することができる	少人数でスタッフを手厚く支援している中で、子どもの状況に対して情報共有して支援を当てるようにしている。	今後、支援に対する研修を受講し、支援技術の向上に当たったり、ケース会議やミーティングを通してさらに情報共有、支援の共通理解に図ったりしていきます。
2	子どもたちが在籍している保育園が隣接しているため、活動や課外活動等、スタッフが園に出向き、一緒に活動に参加して支援をすることができる。	保育園での困りごと、本人の様子を聞き、支援につなげるようにしている。また苦手としているところを療育の活動に取り入れている。	保育園とのミーティングや担当者会議を設定し、情報共有をし、共通理解のもと支援に活かせるようにしていきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	SNSを利用したすずらんの情報発信	SNSをUPする技術を持ち合わせていない	Instagramを更新できるように、技術取得したり、SNSの研修を受けたりしていきます。
2	利用児も少なく、発達段階の差があり、集団での療育の充実が難しい。	送迎がなく、隣接の保育園に在籍している子どものみ利用しているため利用児が増えない。	保育園と連携をとって、クラスの活動と一緒に入り、集団の中での活動を経験して、その中で支援をしていきます。
3	保護者へ向けてのペアレントトレーニング等の研修を行っていない	平日4日間しか開所しておらず、保護者が集まりやすい曜日は閉所であること。 以前は開催していたが、なかなか全員の保護者と日程を合わせる事が難しかったこと。	今後オンデマンド研修を企画したり、学童保育すみれクラブと共催で学習会や懇談会等を行い、保護者・家族支援をしていきたい。